

# 信濃美術館整備事業

## 県民リレー・ワークショップ

これまでの意見交換会等から見たもの Ver. 4  
(2017. 09. 19 現在)

### 美術館全体に望むこと

- ♪ 各世代に合った場所であって欲しい
- 子どもの目線に立った美術館であって欲しい
- ◎♪ 家族で気軽に行ける美術館であって欲しい
- ☆ 信州の歴史や生き様が反映された美術館であって欲しい
- ▲ 気軽に立ち寄れる場としての側面もあって欲しい
- ☆ 憩いの場であって欲しい
- フォーマルな雰囲気と気軽さが同居した美術館がよい
- 美術に興味がない人も訪れたい美術館がよい
- 敷居が低くて多面性のある美術館がよい
- 展示以外にも建物や他のデザインに楽しみを感じられるとよい
- ◎ 気軽に入館して、無料ゾーンを見て回れるとよい
- ◇△ 無料ゾーンを充実して欲しい
- ♪ 子供が触ったりできる作品が無料ゾーンにあるとよい
- ♪ 無料ゾーンで親子がアートを見ながら会話をして過ごせるとよい
- ♪ 子供の遊び場は年齢の異なる子供がそれぞれ遊べるようになるべく広いほうがよい
- ♪ 遊具としても使えるオブジェがあるとよい
- ▲◎ ミュージアムショップやレストラン等を充実して欲しい
- △ カフェは、アートカフェになるとよい
- ◎ レストランを美術館内に設けることが難しければ、館外で民間を誘致してでも設置して欲しい
- ♪ レストランやカフェも子供連れで入りやすくして欲しい
- ▲◆◎◇ 休憩スペースを充実して欲しい
- ◇ 発作や定時の注射の際に利用できるベッドがあるとよい
- ◎ 車椅子利用者も皆と同じ休憩所が使えるとよい
- 横になれる場所があるとよい
- ◇ 障がい者も一人で移動できるよう配慮してほしい
- ▲ 屋外に広場のようなスペースがあるとよい
- ☆ 館内で難しいことも屋外でできるとよい
- ◎ 機能性を重視した美術館であって欲しい
- 県内美術館の特性を踏まえた美術館のあり方を考える必要がある
- ユニバーサル展示の実現（触れる展示など）



●ミニ・フォーラム  
(2017. 2. 24長野/3. 14飯田  
/4. 13松本/4. 26小諸)



▲ミニ・フォーラム  
in 信州大学  
(2017. 5. 29  
信州大学松本キャンパス)



■キックオフ・フォーラム  
(2017. 7. 15長野市  
若里市民文化ホール)



▼長野県文化芸術議員懇談会  
北信美術会との懇談会  
(2017. 8. 25 県庁)



◎県民リレーWS No. 1&2  
(2017. 9. 02 長野市役所)



☆県民リレーWS No. 3  
—美術関係者  
(2017. 9. 05 長野県庁)

- ◇ 要約筆記を映す部屋では、スクリーン付近の照明を消せるとよい
- ◇ ぶつかっても怪我をしないよう、角には気をつけて欲しい
- ◇ 喫煙所の位置についても配慮して欲しい
- ◇ 屋外動線には屋根或いはそれに代わる人的サービスがあるとよい
- ◇ タッチ式の自動ドアは力が弱くて押せない場合もあるので、センサー式がよい
- ◇ 展示室に電源があると人口呼吸器装着児も楽しむことができる
- ◇ 多目的トイレの利用者が増えているため、数を増やして欲しい  
(できれば男女別が良い)
- ◇ 多目的トイレには、着替え台や人工呼吸器用の電源があるとよい
- ◇ エレベータのボタンは押しやすいものにして欲しい
- ◇ エレベータにはストレッチャーが入るとよい
- ◇ エレベータには、車椅子が二台乗れるとよい
- 動く歩道があるとよい
- ◇ 駐車場は、障がい者等用駐車場利用証制度を導入して欲しい
- ◇ 階段の段差やトイレサイン（男女の区別）は、弱視の人でもわかりやすくして欲しい
- ◇ ヒアリンググループ補聴援助システムを当初から導入して欲しい
- ◇ 聴覚障がい者は避難放送が聞こえないため、電光掲示板の活用を検討してほしい
- ◇ 視覚的に容易に空間を認識できる構成として欲しい
- △ 水庭には冬の対策を十分検討して欲しい
- ♪ 美術館が雨天時に子供と行く場所の選択肢になるとよい
- ♪ 小さな子供が安全に行けて交流出来る場所が市内に少ないので、城山公園や美術館がそうした場所になるとよい

- ☆ 収蔵庫の拡充、将来の拡張性
- ▲ 自ら美術について考えていく場になるとよい
- ▲ 陳腐化しない未来を予想した作り方を目指して欲しい
- 観光客、地域の人々双方にとって魅力ある施設になるとよい
- 50年後も古びず、周辺景観と一体化した美術館であって欲しい
- 美術館の外壁を利用した野外上映会など、公園との一体利用が可能な計画になるとよい
- 作品鑑賞後に美味しいワインが飲めるとよい
- 県内情報や他の美術館の情報が入手できるとよい
- 地元の児童・生徒が親しめる施設になって欲しい
- ワークショップルームなど創造空間があるとよい
- △ 地下スペースには、吹抜けやサンクンガーデンなどを設けて閉鎖的にならないようにして欲しい
- 図書館はパブリックな場所に設置して欲しい
- ▲◆◎ ユニバーサルデザイン（音声ガイド、多言語対応含む）
- ▲ 学習スペースとしての役割
- ▲ 明るい雰囲気の建物にして欲しい
- ☆ 光（採光、照明）の美しい美術館にして欲しい
- ▼◆◎◇ 全ての人々が鑑賞しやすい美術館にして欲しい
- ◆♪ 短時間で回ることもできるよう展示を選べるとよい
- ◆△ 建物の外見も重要
- ◆ 旅行者が催事を知ることができる案内が必要
- ◆ 地下の防災利用は想定できないか
- ◆ 人々に愛されるパブリックスペースを設けてほしい
- ◎△ 屋上は魅力的なので、荒天時でも使えるとよい  
(一部に屋根があるとよい)
- ◎ 東側市道の地下は利用できないか
- ◎ 移動のためには、エレベータだけでなくエスカレーターもあるとよい
- ◎ 地下にスロープを作って行き来することはできないか
- ☆ 展示壁は釘やピンが使えるとよい
- ☆ 展示空間にドラマやストーリーが感じられるとよい
- ◇ 発達障がい児がクールダウンする場所があるとよい



◇県民リレーWS No. 4  
一障がいがある方等  
(2017. 9. 12  
長野市障害者福祉センター)



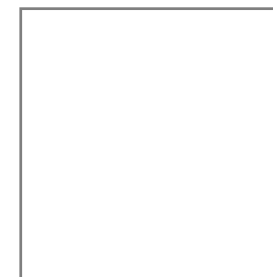
□県民リレーWS No. 5  
(南信地域)  
(2017. 9. 18  
男女共同参画センター)



△県民リレーWS No. 6  
(中信地域)  
(2017. 9. 18  
安曇野市豊科公民館)



♪県民リレーWS No. 7  
(子育て世代)  
(2017. 9. 19  
長野市「こども広場  
じゃん・けん・ぼん」)



県民リレーWS No. 8  
(教育関係者・学生)  
(2017. 9. 24  
長野市城山公民館/予定)



県民リレーWS No. 9  
(観光・地域づくり関係者)  
(2017. 10. 03  
長野県庁/予定)

## 周辺との関わりで望むこと

- 善光寺と美術館との回遊性、自然に足が向くようになるとよい
- 既存の樹木を活かした森の中の美術館になるとよい
- ☆ 城山公園内の野外彫刻が活用されるとよい
- 公園内の治安を大事にして欲しい
- ◎ 城山公園は、これからも「憩いの場」であって欲しい
- ♪ 善光寺を含めた地域一体が今後も心のふるさとであって欲しい
- ◎ 公園には、広葉樹も植えて欲しい
- 駐車場スペースを確保して欲しい
- ▼□ 駐車場の確保
- ◎ 公園が駐車場だらけにならないよう公共交通の整備を
- 駅からの公共交通整備が重要
- 長野駅からの交通の便をよくしてほしい
- 長野電鉄からのアプローチ
- ◎ 城山プールや少年科学センター側からのアプローチも重要
- ▲◆ 駅前や善光寺からの誘導、案内の整備が重要
- ▼◇ 善光寺東庭園、城山公園との一体的整備が望ましい
- ◆☆ 美術館～城山公園～善光寺の距離感をつなぐ工夫
- 善光寺周辺の石畳を城山公園まで延長して誘導できるとよい
- 噴水にこだわりすぎず、広い視点で市と調整が必要
- ▼ 噴水をどう考えていくのか
- ☆ 善光寺から建物が見えるとよい
- △ 子供がアートを感じられるモニュメント等が公園内にあるとよい
- ♪ 子供が遊べる噴水はとても楽しみ
- ▲ 善光寺とマッチした建物がよい
- ▼ 善光寺と一緒に観光客誘致を考えるべき
- ▼ 周辺既存施設（NHK、蔵春閣など）や文教施設を踏まえた計画を
- ▼ 長野駅前から美術館行きのバスを走らせたいが、その待機所を計画できないか
- ▼ 東側からのアプローチは魅力的だと思う
- ◎ 長野らしい木の多い風景がよい
- まちづくりの拠点になることを期待している

## 美術館の運営・活動について望むこと

- 芸術家を育てる施設となって欲しい
- 県内で活動している作家の展示、支援をして欲しい
- 若手作家の活動の場になって欲しい
- ▲◆ 若手の現代作家の作品が見られるとよい
- 若手作家と子どもたちの交流企画があるとよい
- ◆□♪ 体験型の作品展示があるとよい
- ♪ 子供向けの企画展示をやって欲しい
- ♪ 子供に刺激を与えられるワークショップを開催して欲しい
- ♪ 子供向けのワークショップは親にとっても勉強になる
- ♪ 親向けのアートスクールのような企画にも関心がある
- ◇ 障がいがある子供が美術を学んだり、ワークショップを楽しめる施設として欲しい
- ◇ 障がい者向けの企画展も開催して欲しい
- ◇ 常設で、障がい者が音や光を体感できる展示をして欲しい
- ◎ 次世代育成を全県に展開する拠点になって欲しい
- 県内美術館との連携（巡回展などを含む）があるとよい
- 県内に限らず、全国の美術館との連携を目指すのがよい
- 県内小規模美術館への人的、金銭的援助をして欲しい
- ☆ 人材確保、体制整備を進めて欲しい
- ◆△ 美術品の修復施設があるとよい
- 所蔵品のインターネット検索ができるとよい
- 県内地域差を補うような特典があるとよい
- 運営ボランティアを募集してはどうか
- 学校教育ではできない教育活動の提供をして欲しい
- ▲ 教育へのアプローチが欲しい
- 次世代育成活動に力を入れて欲しい
- ▲◆◎ここでしか展示されない作品や構成などの特別感があるとよい
- ▲◆ 独自の企画展、長野県だからできること
- ◆ 池田満寿夫のコーナーがあってもよいのではないかと
- ▲ スタンプラリーのような遊び心があるとよい
- ▲ コレクション展のアピールをした方がよい
- ▲ オール信州としての美術館になって欲しい

- ◆ 県内の他の美術館とのコラボレーション企画
- ▲ 城山公園や善光寺との共同企画があるとよい
- ◆ 善光寺ライトアップと共同したナイトミュージアム
- ◆ 夜間の開館延長ができると仕事帰りに寄るとよい
- 善光寺とのソフト面での協力もできるとよい
- ▲ 口コミ波及効果へのアプローチを考えてもよいのではないかと
- ▲◎ 普段美術館に来ない人へのアクションが必要
- ▲ 県内に分館を整備してはどうか
- ▲ クラウドファンディングの活用
- ▲◆△ SNS 映えするフォトジェニック性や話題性
- ◆ 一部でも撮影可能にできないか（話題性）
- △ 収蔵庫の一部でも公開できると目玉になる
- デジタル技術との融合をどう考えるか
- ◆ 近隣商店街との協力が必要（半券でのサービスなど）
- ◆ 音楽と美術のコラボレーションができるとよい
- ◎ 日展など大規模展覧会が開催できる展示室があるとよい
- ◎△ 館長や学芸員の教育も大事
- ◎□ 展示を見ながら、語らうことができるとよい
- ◎ IoTの活用で、来館者へのホスピタリティを補助できるとよい
- ◇ 障がい者の鑑賞と作品制作への対応を含めたバリアフリー化を
- ◇ 無料スペースでは、子供たちがワークショップで作った作品などを売るとよい
- ◇ 全体を見ることが困難な発達障がい児のために、小さなレプリカがあるとよい
- ◇ 「つながる」美術館のコンセプトを、是非運営にも引き継いで、障がい者にことも理解できるスタッフを増やして欲しい
- ◇ レストランでは、形態食やアレルギー食の対応をして欲しい
- ◇ 作品をできるだけ触らせて欲しい  
(触れない場合は、学芸員やボランティアの解説があるとよい)
- 新たにできる屋上展望広場からの眺めを多くの人に知ってもらうための広報が重要
- △ 屋外を作家が実験できる空間として開放して欲しい



- △ 展覧会情報を紙媒体でもしっかり発信して欲しい
- △ 県ゆかりの作家の作品収集を進めて欲しい

### 県民ギャラリーに望むこと

- ▼ 十分な壁面の確保（ピクチュアレールの用意）
- 工芸や彫刻等の展示への対応
- ☆ 生花展示も可能にして欲しい
- 搬入路の整備
- 県展クラスの展覧会は、作品を一同に展示できる広さが欲しい
- ▼ 入口をできるだけ広く明るくして欲しい
- ▼◎☆ 雑務を行う準備室や作品の梱包材を置く場所があるとよい
- ▼☆ 県民ギャラリーと講堂は並列配置の方が使いやすい
- ☆ 美術館展示室への来館者動線と準備動線は交差しないようにして欲しい
- ▼ 高所作業をせずに済むような、機械仕掛はできないか
- ▼☆ 作品を二段あるいは三段掛けできる5mの天井高が欲しい
- ☆ 壁面の中間にもピクチュアレールがあるとよい
- ▼☆ 展示パネルの間隔は5mピッチが使いやすい
- ☆ 展示治具（ワイヤー、フック、展示台など）は各所共通として使い勝手を良くして欲しい
- ▼☆ 大規模利用だけではなく、間仕切りで小さくも使えるようにして欲しい
- ☆ 使い方に応じた照明配置ができるようにして欲しい
- ◆ 高齢者利用を考えると、地盤に近いほうが利用しやすい
- ◎ 出来上がった施設を工夫しながら使いこなしていきたい
- 県民利用の観点からも使い勝手の良さが重要である
- △ 松本市美術館同等に1600㎡程度の広さが欲しい
- △ 美術館の展示室の一部を県民ギャラリーとして使えないか
- △ 県展関係者や他機関との連携をしっかりとって欲しい

### 設計者に望むこと

- ◎ 利用者の声に柔軟に対応してくれる建築家であって欲しい
- 基本設計の段階でも県民の意見を聞く場を設けて欲しい
- 長野県の気候に合った施設設計をして欲しい
- ▼ 雪への備えを十分にしたい
- ◎ 冬の景色をイメージしながら設計して欲しい
- 県産材の活用を検討して欲しい
- ◎ 県産材は木だけではなく、石もあるので活用して欲しい
- ▼ 東山魁夷館と新館の関係など、スタッフとよく打合せして欲しい
- ▼ 制限の多い場所であるが、しっかり計画して欲しい
- ▼ 木を活用し、善光寺の建物と融
- ▼ 地中熱利用などの環境技術の検討をして欲しい
- ◆ 県民の声をよく聞くことも大事だが、あれもこれもとなってしまうようにして欲しい。美術館らしい美術館を。
- ◆ 商店街との意見交換の場を設けて欲しい
- ◎ 美術館では難しいと思うが、長野県のきれいな空気を館内に取り入れられるとよい
- ◎ 今後発達すると思われる新しい技術への対応ができるとうい
- ☆ 大人の遊び心が感じられる設計をして欲しい
- 楽しく設計して欲しい

### その他

- ◎ 開館時期は予定通りとして欲しい
- ☆ 一日でも早く開館して欲しい
- ◇ 障がい者同士の理解も重要である
- 自然災害の犠牲者を追悼する場を美術館内に設けて欲しい